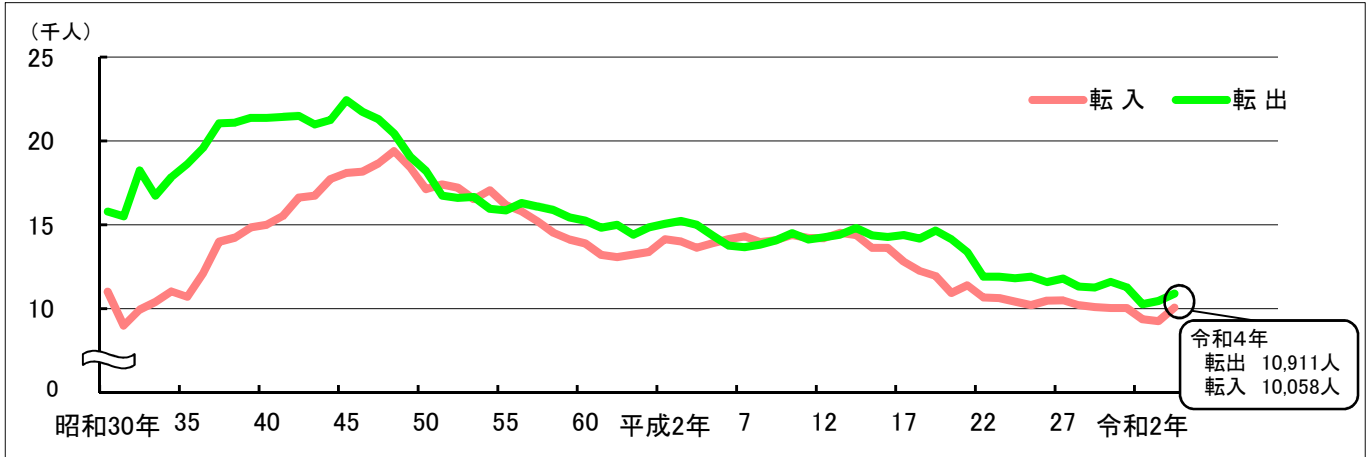


鳥 取 県 の 人 口

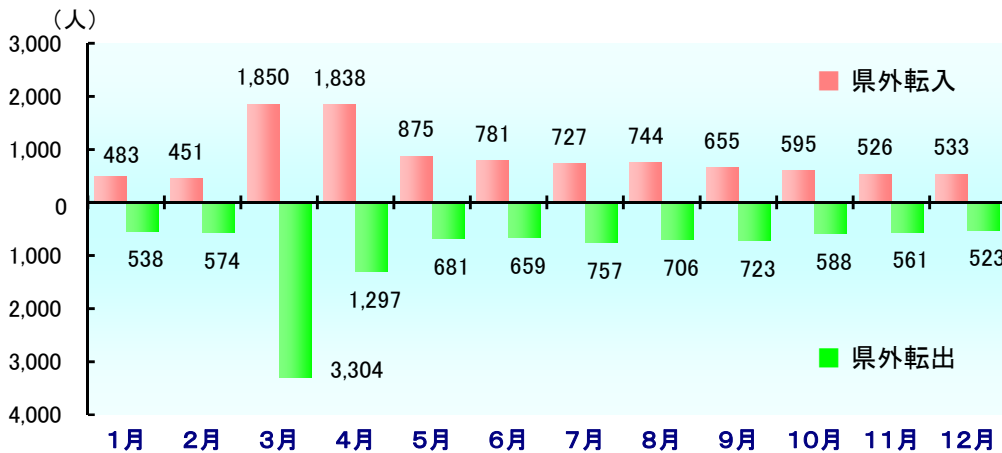
人口動態（社会増減）～鳥取県人口移動調査結果

社会動態の推移(昭和30年～令和4年)

毎年の人口動態について、昭和30年から令和4年までの推移をみると、社会動態では昭和30年から昭和50年までは一貫して転出が転入を上回っていました。その後は、転入超過と転出超過を繰り返していましたが、平成14年以降は転出が転入を上回っています。



月別転入数・転出数(令和4年)

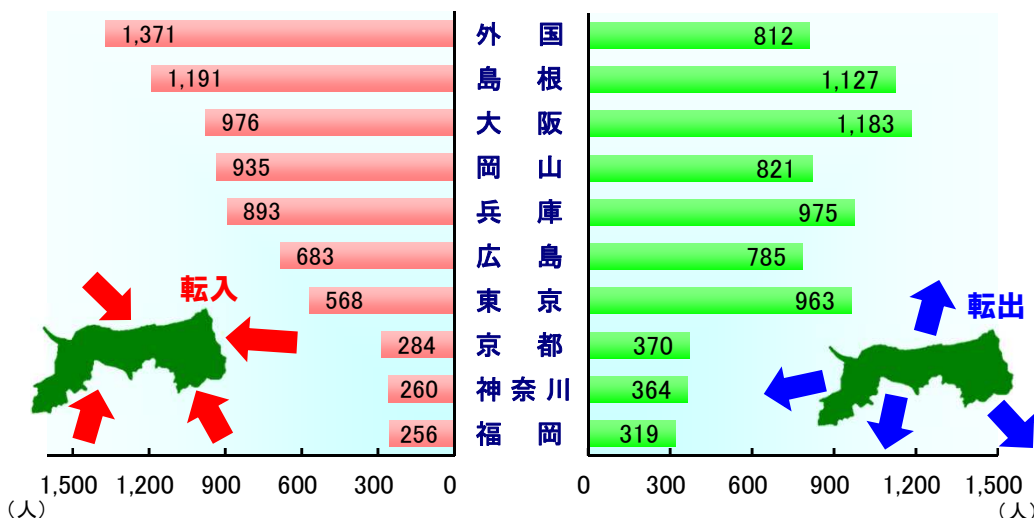


県外転入数・県外転出数を月別にみると、進学・就職・転勤の時期に当たる3月と4月は、転入数・転出数ともに多く、この2か月で年間の約4割を占めています。

3月は転出数が転入数を大きく上回り、4月は転入数が転出数を上回っています。

その他の月は、転入数と転出数がほぼ均衡しています。

転出入の多い都道府県(令和4年)



転出入の多い都道府県をみると、転入は外国、島根県、大阪府、岡山県、兵庫県、広島県の順で多く、転出は大阪府、島根県、兵庫県、東京都、岡山県の順で多くなっており、中国地方・京阪神・首都圏の都道府県との移動が盛んになっています。

また、転入の多い都道府県は、転出も多い傾向がうかがえます。